

「平成20年度研究主題一覧および指導形態集計」の発刊にあたって

平成16年度から第7次長期5か年計画の研究が始まり、今年度で5年目となり、まとめの年を迎えました。それぞれの学校では「ゆとりの中で生きる力を育み、創意ある教育活動を実施し、信頼される特色ある学校づくり」に向けて日々全教職員が一体となって取り組みを進めていることと思います。

さて、北海道へき地・複式教育研究連盟では、毎年、全道へき地・複式校の研究主題と指導形態の調査をしています。全道的に見ると、毎年30数校が閉校・廃校・休校となり、また、小規模化が一層進み、複式学校の増加とともに極少人数の学級が増える傾向にあります。これまでの課題はもとより、新しく対応すべき課題も出てまいりました。さらに、各管内では市町村合併も進むことが予想されます。へき複連には厳しい環境が待ち受けておりますが、情報交流を密にして、さらに研究を推進することが重要です。

今年度もへき複連加盟校等の研究主題と指導形態がまとまりましたので、冊子およびCDにしてお届けします。ご活用いただければ幸いです。

お忙しい中、集約をしていただきました各市町村へき・複連事務局および道へき・複連研究推進委員各位のご協力に感謝申し上げます。

平成20年 7月

北海道へき地・複式教育研究連盟研究部